

令和7年度 第3回 内野小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月2日（月） 13時30分から14時30分
- 2 開催場所 浜松市立内野小学校 北校舎3階 会議室
- 3 出席委員 岡田 正利、作田 悠佳、桑原 純一郎、大久保 公雄、森上 久美子
金子 香穂利、伊藤 正、大石 彩
- 4 欠席委員 平野 岳子、中道 想
- 5 学 校 生熊 周（校長）、齋藤 隆治（教頭）、横山 和美（主幹教諭）、
青嶋 慶衣子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 青嶋 慶衣子
- 8 議長の選出

司会の齋藤教頭から、コーディネーターの金子委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- (1) 学校運営協議会自己評価
- (2) 学校関係者評価
- (3) 次年度学校運営の基本方針

10 会議記録

司会の齋藤教頭から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校運営協議会自己評価

- ・今年度は平野委員がCSだより創刊号を出してくれた。来年度も三回くらい出した。運動会でボランティア募集チラシを配り、5人の応募があった。来年度もどういう人材が欲しいか、的を絞って募集したい。（岡田委員）
- ・今年度は”草取り”等ピンポイントで募集したが、それに興味がないと応募してもらえないため、大きいくくりで募集した方がよいとの意見もあった。（金子委員）
- ・先に活動の日程がわかると自分の日程を合わせやすい。（森上委員）
- ・ボランティア募集に取り組むようになり、三年目となる来年度は集大成の年にしたい。工夫してもっと募集したい。（伊藤委員）
- ・参加して二年目になった。CSの方々がどういう話し合いをしているかアピールしながら、学校がどういう支援を必要としているか、周知が進んできた。（大久保委員）
- ・ボランティアの仕組みづくりをさらに進めたい。（桑原委員）
- ・「働いているから難しい」との反応が多かった。日程調整が課題。事前に活動内容と日程が決まっていたら、やりたい保護者がいる。事前に細かいことを決めて、参加しやすい工夫をしたい。（作田委員）

(2) 学校関係者評価

議長の指示により、横山主幹教諭から、別紙資料に基づき学校関係者評価について説明をし、承認を得た。

(3) 次年度学校運営の基本方針

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき次年度の学校運営の基本方針について説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・全家庭面談は素晴らしいと思う。年度当初に各家庭の考え方を知ることは重要。厳罰化される自転車の交通ルール教室や、地域防災訓練への子供の参加に関して、保護者の考えを聞くところから始めてみたい思いがある。(岡田委員)

《その他報告事項等》

○夢育やらまいかCS加算分の報告。

議長の指示により、齋藤教頭から、夢育やらまいか事業CS加算分については5年生の田植え・稲刈りに活用した旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。

○大久保委員、森上委員が今年度をもって退任される。